

国語Ⅳ(Japanese Ⅳ)

担当教員名	善塔 正志	
学科・専攻, 科目詳細	電気情報工学科 電気電子工学コース 4年 前期 2単位 学修単位 講義	
学科のカリキュラム表	一般科目 必修科目	
共生システム工学の科目構成表	教養科目 人文科学・社会科学系	
学習・教育目標	共生システム工学	A-2(30%) E-1(70%)
	JABEE基準1(1)	(a)(f)
科目の概要	テキストの設問に従った学生の発表と、それに対する質疑応答を中心に授業を進行する。日本語を使用する様々な場面での諸問題を取り上げ、日本語の表現と日本人の発想の特徴について、知識の整理、自発的な考察、適切な実践により習得することを目標とする。	
テキスト(参考文献)	野田尚史・森口稔著：日本語を話すトレーニング（ひつじ書房）	
履修上の注意	事前学習を含め、発表と質疑応答に意欲的に取り組み、国語表現に必要な知識と技術を実践的に習得するよう心がけること。なお、適宜、資料を配付し、小テストを実施する。	
科目の達成目標	学習・教育目標(A-2) に関して ・様々な場面での日本語表現を検討することにより、日本語の歴史と文化を理解する。 ・日本語の持つ法則性を考え、また様々な場面の適切な表現方法を身に付ける。 ・自身と異なる発想や想像に触れながら感性の増大をはかる。 学習・教育目標(E-1) に関して ・問題を批判的に検討し、論理的思考力を養う。 ・発表・質疑応答を通して自身の表現力を高める。	
自己学習	目標を達成するためには、授業以外にも予習・復習を怠らないこと。また、発表に際しては十分に準備して授業に臨むこと。	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/3以上の欠課
	次の2点の評価方法・基準による総合評価を行い、その結果が60点以上に達する者を合格とする。 【評価方法】 ・定期試験（50%） 中間と期末の計2回実施する筆記試験 ・平常点（50%） 発表及び質疑応答・小テストなど 【評価基準】 ・日本語の歴史や文化、法則性について十分に理解しているか ・場面に応じて適切な音声表現及び文章表現を行うことができるか ・問題の検討や質疑応答に際して論理的に考察できるか	
連絡先	zentoh@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容	
第1週	オリエンテーション 授業の概要 発表予定の立案
第2週	問い合わせをする トレーニング 1 の発表と質疑応答 上記問題点の考察と整理
第3週	お願いをする トレーニング 3 の発表と質疑応答 上記問題点の考察と整理
第4週	誘う・断る・謝る トレーニング 5 の発表と質疑応答 上記問題点の考察と整理
第5週	インタビューをする トレーニング 7 の発表と質疑応答 上記問題点の考察と整理
第6週	会議で発言する 1 トレーニング 10 の発表と質疑応答 上記問題点の考察と整理
第7週	会議で発言する 2 トレーニング 10 の発表と質疑応答 上記問題点の考察と整理
第8週	中間試験
第9週	分野別課題研究研究 1 受講者に関係の深い事例研究
第10週	やさしい日本語 トレーニング 12 の発表と質疑応答 上記問題点の考察と整理
第11週	プレゼンテーション 1 トレーニング 13 の発表と質疑応答 上記問題点の考察と整理
第12週	プレゼンテーション 2 ・研究発表 1 トレーニング 13 ・ 14 の発表と質疑応答 上記問題点の考察と整理
第13週	研究発表 2 トレーニング 14 の発表と質疑応答 上記問題点の考察と整理
第14週	面接 1 トレーニング 15 の発表と質疑応答 上記問題点の考察と整理
第15週	面接 2 トレーニング 15 の発表と質疑応答 上記問題点の考察と整理
期末試験	